

東法連 ニュース

2026年
(令和8年)
3月号
第460号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL : <https://www.tohoren.or.jp> Mail : info@tohoren.or.jp

令和8年度事業計画等を審議

東法連令和9年度 税制改正要望「たたき台」を作成

税制税務委員会



あいざつする
高野委員長

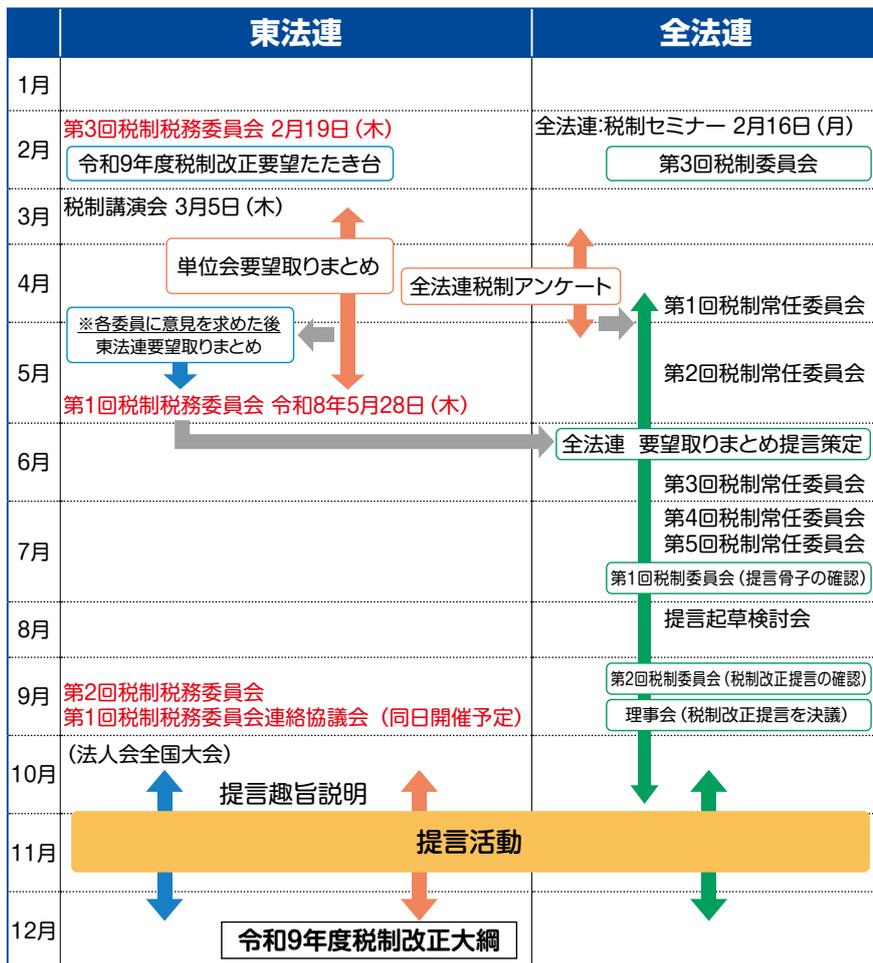
令和7年度第3回税制税務委員会（高野吉太郎委員長・新宿法人会会長）が

2月19日、車屋別館で開催され、令和8年度の事業計画・令和9年度税制改正要望の取りまとめ等について審議を行った。

令和8年度事業計画では「納税意識の向上と税知識の普及に資するための施策の推進」と「税制に対する調査研究と提言活動の推進」を掲げており、前者では「電子帳簿保存法やインボイス制度への対応に関する基本的情報提供を行い、事業者のデジタル化を支える環境整備に取り組む」としている。

具体的な活動計画では「令和9年度税制改正要望のとりまとめ」「税制改正等への対応」「税関連の研修

＜令和9年度税制改正要望とりまとめスケジュール＞



「租税教育」等について例年どおり活動を行っていくことが示された。

令和9年度税制改正要望のとりまとめにあたっては、東法連事務局が作成した「たたき台」を活用して各単位会において議論し、単位会要望を提出してもらうこととして



全体連絡会議を開催

青年部会長サミットでは「健康経営」の取り組みについて学ぶ

東法連青年部会連絡協議会

東法連青年部会連絡協議会は2月3日、青年部会全体連絡会議を新宿の京王プラザホテルで開催した。

全体連絡会



あいさつする
小林青連協会展長

小林滋之青連協会展長(杉並法人会理事)、



あいさつする
大貫全青連会展長

高橋則子青年部会担当副会長(向島法人会会長)の挨拶があった。

第一部の青年部会長サミットでは、大貫高輝全青連

会長(東法連青連協相相談役)の挨拶のあと、「財政健全化のための健康経営の推進」をテーマに、西山和伸全青連会務担当副会長(向島法人



異業種交流会

経営者の仲間ができる!



税務研修

租税教室

税を通して地域や企業をサポート



次世代を支える経営者になろう!

一般社団法人 東京法人会連合会

法人会は、e-Taxの利用を推奨しています

Youtube掲載のPR動画広告

会青年部会副部長)の研修、グループに分かれての取組事例共有があった。

第二部では、



講演する
島田秀平氏

お笑いタレントの島田秀平氏を講師に、「手相を通し

てのコミュニケーション」と題した講演があった。

確定申告期にWEB動画広告でPR

東法連青連協では、確定申告期の広報活動として、「Yahoo! Japan」と「Facebook」「YouTube」に15秒間の動画広告を掲載し、e-Taxによる確定申告と法人会のPRを行った。

単位会の広報活動表彰 江東西、日野法人会を選出

令和8年度事業計画も審議



あいさつする
飯島委員長

令和7年度第2回広報委員会(飯島康裕委員長・日野法人会会

長)が2月10日、全法連会館で開催され、単位会の広報活動に関する表彰の選考および令和8年度事業計画について審議した。

広報活動表彰には、本年度は、4会から応募があり、委員による選考の結果、江東西法人会と日野法人会の2会を受賞会として決定した。地域の特徴を前面に出した会報誌や、QRコードによるWeb連携を前提とした新しいモデルとなる会報誌など、いずれも、他の参考となる優れた広報活動が評価された。表彰は、3月13日開催の広報委員会連絡協議会で行われ、受賞会による活動発表が予定されている。

令和8年度事業計画では、法人

広報委員会

を考える週間」や確定申告期における広告展開のほか、キッザニアや絵はがきコンクールに関するパブリシティ活動、e-Tax推進ポスターの作成などを実施する。さらに、地域限定アンケートの活用やホームページ、SNSによる情報発信の強化を図るとした。

会の知名度向上と会員増強を目的に、公益性の高い広報活動の推進を確認。「税

令和7年度単位会の広報活動に関する表彰 受賞会 (法人会順)

江東西 法人会	会報「ほうじん深川」での相撲部屋、相撲関連特集
日野 法人会	地域・税務・公益をつなぐ広報誌「ふれあい」の戦略的発行とWeb連携型広報の推進



表彰会を選考する広報委員会

令和7年度第2回健康経営委員会を開催

―「法人会版健康経営」の周知拡大へ本格始動―



あいさつする
藤井委員長

令和7年度

第2回健康経営

委員会(藤

井隆太委員

長・神田法人

会会長)が2月25日開催され、全法連が推進する健康経営施策の進捗状況の共有と、令和8年度事業計画案の審議が行われた。

会議では全法連の動向として、1月末に開設された「健康経営専用サイト」や解説動画、啓発用ポスターなどのツールの整備状況が報告された。このほか、Web版の健康経営宣言書を提出した企業に対し、全法連健康経営委員長名等の証明書を発行するインセンティブ制度の構築が進められていることが紹介された。

また、制度協力会社である大同生命保険、AIG損害保険、アフラク生命保険の3社から、健康経営を支援する各種サービスについて説明があり、法人会と協力会

社がパートナーとして連携し、会員企業の健康増進を組織的に支援していく方針を確認した。

令和8年度の事業計画案では、活動を「周知・拡大」の段階へと進め、東法連全体で「法人会版健康経営」の周知を図り、健康経営宣言企業のさらなる拡大を目指す。具体的には、単位会の実情に応じた推進体制の整備を促すとともに、セミナーや勉強会の積極的な開催を支援することを通じて、地域社会への貢献と、会員企業の持続的成長の基盤となる、健康経営の普及・定着の加速を目指していくと

している。



事業計画を審議する健康経営委員会

令和7年度第2回局調査部所管法人セミナーを開催

―19単位会が共催―

東法連は2月18日、渋谷エクセルホテル東急で令和7年度第2回局調査部所管法人セミナーを開催した。第3・第4ブロックと麻布

法人会の計19単位会が共催。各単位会管轄地域内に所在する東京国税局調査部所管法人(原則として資本金額1億円以上)を対象に、法人会会員企業以外も参加可能な公開形式で実施され、当日は96名が参加した。同セミナーは年2回開催している。

第一部では、東京国税局調査第三部長上丸寛之氏が「税務行政の現状と課題」と題し、税務行政のデジタル化の推進をはじめ、不正に対する対応や国税職員の確保・育成などについて幅広く解説。参加者は熱心に耳を傾けていた。

第二部では、以下のテーマについて、各担当官より解説が行われた。

○調査管理課 西小路佳宏主査「令和7年度税制改正について」

○調査開発課 西村大輔情報技術専門官「電子帳簿保存制度の留意点」

○国際調査管理課 杉山孝国際税務専門官「国際課税に関する実務上の留意点」
本セミナーでは大規模法人を取り巻く最新の税務行政の動向を共有し、理解を深める有意義な機会となった。



熱心に解説を聴く受講者

加入推進優績者47名を表彰
退職金制度の普及に尽力

東法連特定退職金共済会



あいさつする
斎藤理事長
人東法連特定
退職金共済会
(斎藤保理事
長)は2月20

日、明治記念館で令和7年度加入推進優績者表彰式を開催し、制度委託会社の大同生命保険の優績推進員および代理店計47名に感謝状と副賞を贈呈した。制度普及拡大に尽力し、顕著な成果を挙げた功績をたたえたもの。

当日は、受賞者のほか、同社役員・支社長ら幹部、掛金収納委託会社の日本システム収納の幹部、全法連専務理事、東法連各法人会の会長・役員ら約130名が出席し、受賞者を祝福した。

式辞で斎藤理事長は、共済会は昭和52年の設立以来、従業員の福祉増進と中小企業振興を目的に事業を展開してきたと説明。人出不足感高まる中で退職金制度は人材確保と定着に不可欠であると強調

し、「法人会役員・事務局との連携を一層深め、加入推進活動に取り組んでほしい」と呼びかけた。



代表受領する
高山啓子氏
受賞者が紹介
され、上野支
社の高山啓子
氏(上野法人
会担当)が代
表して感謝状
を受領し、今
後も推進活動
に尽力すると
謝辞を述べた。



表彰を受ける
優績推進員と代理店
谷崇志常務執
行役員が祝辞
を述べ、制度
のさらなる発
展に期待を示
した。



あいさつする
岩谷常務執行役員
式後のパーティーは高橋利充副
理事長の乾杯で開会。終始和やか
な懇談が続ぎ、青柳晴久評議員の
中締めで閉会した。

なお、表彰式に先立つ理事会では、令和8年度の事業計画等が承認された。

単位会 ニュース

青梅法人会が創立75周年・
社団化50周年記念式典を開催

新事業「Small DX Challenge」を開始

青梅法人会(菊池一夫会長)は2月16日、ホテルエミシア東京立川で創立75周年と社団化50周年の記念式典を開催した。管轄自治体の首長や関係団体代表、会員ら約250名が出席し、これまでの歩みと新たな門出を祝った。



記念式典であいさつする菊池会長

式典では、昭和25年の創立以来、地域経済の発展と適正な申告納税の普及に取り組んできた歴史を映像で振り返るとともに、新事業「Small DX Challenge」の始動を発表。同事業は、学生の発想とAI技術を活用して地元企業の課題解決や業務効率化を図り、中小企業のDXを後押しする取組みとして注目された。同会は今後、伝統ある事業を礎に新たな取組みを展開し、地域経済の活性化に貢献していく方針だ。

単位会 ニュース

講演会「お花見に間に合う
日本酒講座を開催

王子法人会



講演する
平田副部会長
(鈴木康之会
長)は2月26
日、女性部会・
青年部会合同

講演会「お花見に間に合う日本酒講座」を北とびあいで開催した。講師は、日本酒唎酒師および日本酒学講師の資格をもつ同会青年部会副部会長平田理沙氏が務めた。

講義では、「日本酒度」や醸造プロセスなど日本酒の基礎知識に加え、地元の国重要文化財である「赤煉瓦酒造工場」が日本酒の発展に果たした役割について紹介された。続いて試飲も行われ、香りと味わいの異なる4種類の日本酒を、生ハムや漬物、チーズ、クッキーの4種の酒肴と組み合わせ、ペアリングによる味わいの変化を体験した。このほか地元や各地の銘酒の紹介もあり、参加者はお花見シーズンを前に日本酒の奥深い魅力を楽しんだ。